



SNS「mixi」のサービス概要
- サイト概要と運営者としての取り組み -

2008年1月29日
株式会社ミクシィ
代表取締役社長 笠原 健治
<http://mixi.co.jp/>

Section1

SNS「mixi」の概要

mixi 概要

ソーシャル・ネットワーキング サービス (SNS) である mixi は、自分の友人や知人をサイト上で一覧管理し、1対1のコミュニケーションはもちろんのこと、1対n(登録されている友人・知人やその他のユーザー)のコミュニケーションも簡単に行うことができる招待制のWebサービスです

サイト内におけるユーザー間のメッセージ機能。

個人のプロフィールを公開する機能。

友人・知人の一覧表。これらをたどることにより人脈を可視化することが可能。

友人がアップロードした動画やフォトアルバムを閲覧できる機能。

特に関心のある属性(趣味・嗜好)をテーマとしてコミュニティ(掲示板)を設置できる機能。

紹介文により、人となりや繋がりをより具体的に把握することが可能。



日記やプロフィール等を閲覧した他のユーザーの足あと(アクセスログ)を閲覧できる機能。

サイト上で簡易に個人の日記(blog)を作成・公開できる機能。他のユーザーはその日記に対するコメントを付記する事が可能。

国内外の、時事・スポーツ・IT等のニュースを配信するサービス。配信されたニュースを元に日記や関連コミュニティを表示することが可能。

日記に含まれるキーワードのランキングを表示する機能。1から30位までの名詞が参照できる。

再生した楽曲名・アーティスト名・再生日時をリスト化し表示する機能。

CD・書籍・DVD・映画等の感想・評価を公開する機能。

機能の紹介 - 日記機能 -



日記機能

- 日記は日々の出来事などについて友人(マイミクシイ)などに発信することが可能
- 日記の公開範囲としては以下を選択可能
 - ✓ mixiサイト内全体に公開
 - ✓ 友人の友人まで公開
 - ✓ 友人まで公開
 - ✓ 友人の中でも特定のグループのみ公開 (有料サービス)
- 動画・写真・地図などを掲載することが可能で、友人間で日記にコメントし合うことでコミュニケーションを図っている

機能の紹介 -コミュニティ機能-



コミュニティ機能

- ある特定の話題(趣味、地域、大学、職場等)によってコミュニティを開設したり、参加することが可能
- コミュニティの概要に応じたトピックにおいて、コメントや動画・写真などを通じて、コミュニケーションを促進
- コミュニティの参加条件と公開レベルとしては以下の分類
 - ✓ だれでも参加できる
 - ✓ 管理人の承認が必要

機能の紹介 -あしあと機能-



あしあと機能

- ユーザー自身のページへのアクセスログが残ることによって、誰にアクセスされているか把握可能
- また、アクセスするユーザーの行動においても不適切な利用に対する抑制が働く
- あしあとページより不適切な利用者のIDが判明し、ユーザーが設定機能においてアクセス制限（アクセスブロック）することが可能

主要データ

ユーザー数 *1		1,240	万人
月間PV *2	PC	59.2	億PV
	mobile	63.4	億PV
	合計	122.6	億PV
月間滞在時間 *3		3時間 2分	
アクティブ率 *4		約 60 %	

※1 2007年11月7日現在 当社調べ

※2 2007年9月末日現在 当社調べ

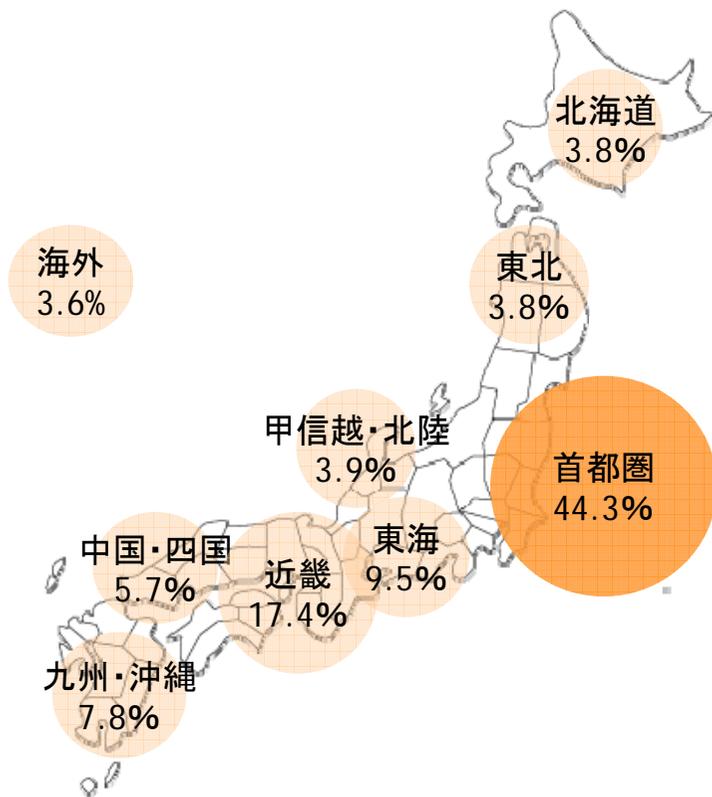
※3 ネットレイティングス社 9月末現在調べ

(ネットレイティングス社の調査には携帯電話からの利用が含まれておりません)

※4 ユーザーが3日以内に当社サイトを利用する率

ユーザー属性

地域属性(全ユーザー)



モバイルにおいては下記の通り

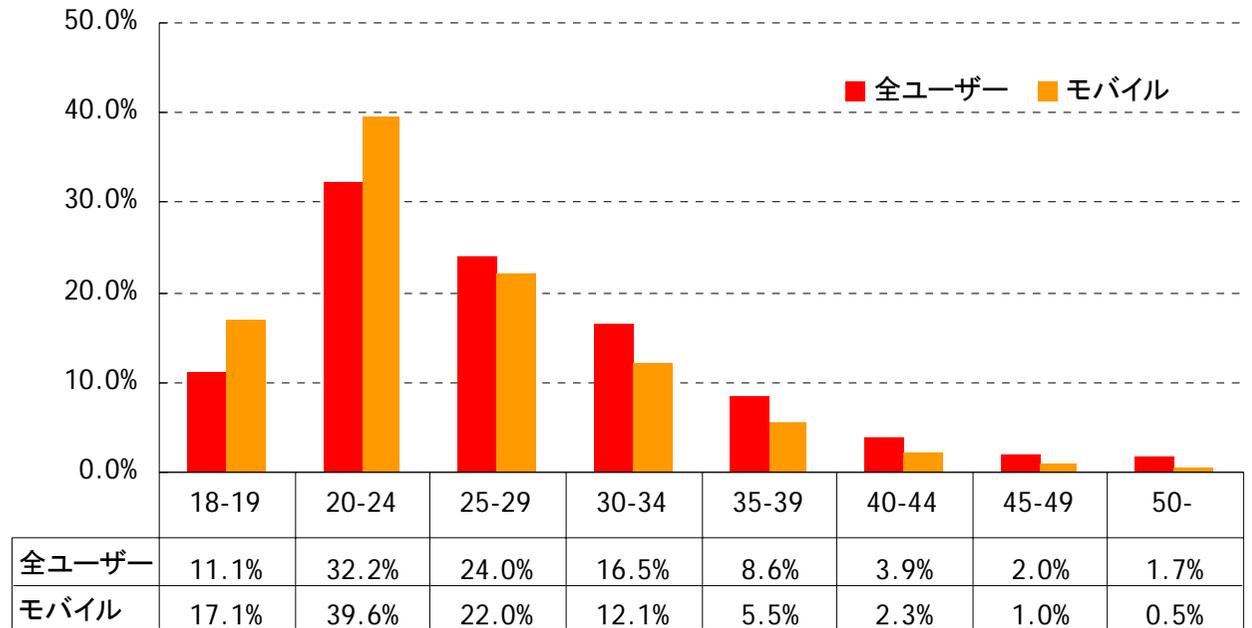
北海道:4.1% 東北:4.3% 首都圏:44.3%

甲信越・北陸:4.2% 東海:10.0%

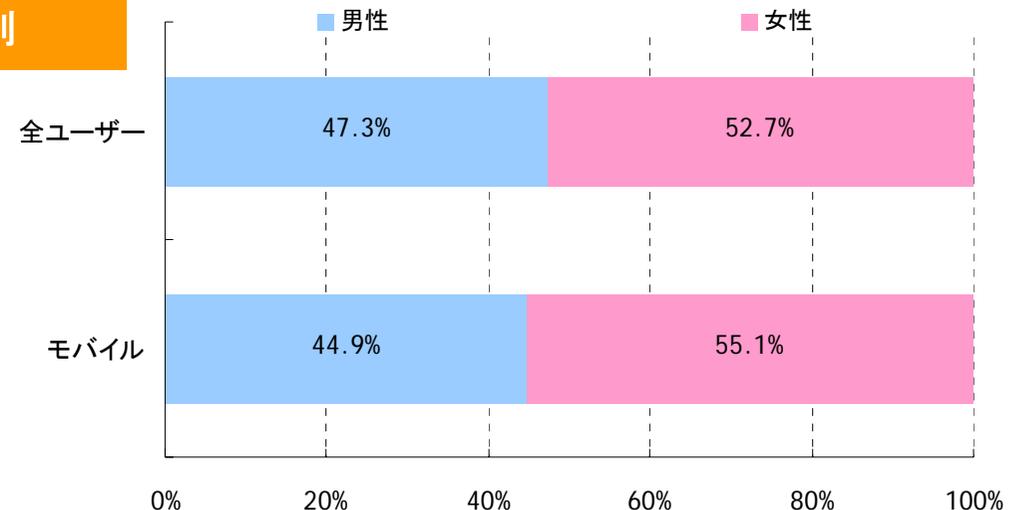
近畿:18.1% 中国・四国:6.2%

九州・沖縄 8.7%

年齢層



性別



コミュニケーションの機会創出

情報の非対称性の解消

自分中心のメディアの創出

Section2

健全性維持の為の取り組み

- mixiを利用するには利用規約への同意を求めており、18歳未満の利用を禁止しております
- 書き込み内容に関しては、法令に反する書き込みのみならず公序良俗に反する書き込み等についても禁止行為とし、掲載情報の変更、登録削除を含めた処置をとっております

利用規約 (一部抜粋)

- 法令に違反する行為、および違法な行為を勧誘または助長する行為。
- 他人の名誉、信用、プライバシー権、パブリシティ権、著作権、その他の権利を侵害する行為。
- 他のユーザーに対する中傷、脅迫、いやがらせ、その他経済的もしくは精神的損害または不利益を与える行為。
- 民族・人種・性別・年齢等による差別につながる表現の掲載。
- 暴力的、グロテスクな画像・動画、死体・殺害現場等の画像・動画、その他一般の方が不快に感ずる画像・動画、イメージ、言葉、その他の表現の掲載。
- 露出度の高いヌード画像・動画、胸や臀部等のアップや性器が露出した画像・動画等、卑猥と判断される表現の掲載。
- 性行為や性器に該当する言葉、猥褻的な表現の掲載。
- 児童買春・ポルノ、無修正ビデオ映像のダウンロードサイト等へのリンク掲載。
- 自殺、自傷行為、薬物乱用等を美化・誘発・助長する恐れのある言葉、その他の表現の掲載。
- 性交および猥褻な行為を目的とした出会い等を誘導する行為。

- 24時間365日のサポート体制を構築することで、ユーザーからの問い合わせなどに対するサポートのみならず利用規約に則った自主的なパトロールを実施しております
- システム的な対応と人的な目視を行うことで、パトロールのクオリティを高めております

パトロール体制

- CS推進部において、専任スタッフによる監視体制でサイト全体を監視
 - ✓ ユーザーからの問い合わせに対応するカスタマーサポート
 - ✓ 利用規約に則りパトロールを行うグループ
- パトロールに関してはシステム的にNGワードを用い、書き込み内容をチェックする体制と目視による確認・パトロールを実施
 - ⇒ 利用規約に反する書き込みを抽出し削除対応を実施
 - ⇒ 悪質なユーザーについては強制退会の処分を実施
- 出会い系などの悪質な業者に関しては、社内でも重点的に対応

- 画面上の一番目立つ「運営者からのお知らせ」や「ヘルプ」機能に利用上の注意事項を明記することで、注意喚起や啓蒙を図っております
- 通報ボタンを設置することや、ユーザーが情報の公開範囲を設定できるようにすることで、ユーザーが安心して使えるような仕組みを用意しております

ユーザーへの啓蒙

- 画面上のあらゆる場所に利用上の注意を掲載することでユーザーに対する注意喚起や啓蒙活動を実施
 - ✓ ユーザーからの問い合わせやサイト・パトロールから問題点を把握し、利用上の注意をブラッシュアップし、ユーザーへの周知や啓蒙を実施
- 通報ボタンをサイト上に設置し、容易に悪質なユーザー等を運営者に通報し、運営者がすみやかに対応できるような仕組みを構築
- ユーザー自身で以下の情報に関して公開される範囲を設定可能
 - ✓ プロフィール情報(名前、性別、現住所(市区町村)、年齢、誕生日、出身地、趣味、職業等)や日記に関して、それぞれ友人まで、友人の友人まで、全体までと3つの範囲で公開設定が可能
 - ✓ 写真・動画に関して、非公開(パスワードで公開可能)、友人まで、全体までの範囲で公開設定が可能
 - ✓ 検索の対象についても含まれる・含まれないの設定が可能

Section3

フィルタリングに関する懸念点

フィルタリングに関する懸念点

SNS等の情報発信型の新たなインターネットサービスに関する産業全体の成長性や競争力の減退

フィルタリングの制限が及ぶ年齢と外れる際の条件